

目標達成計画

作成日: 平成 26 年 6 月 4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	高齢者施設や病院において、火災事故における死亡事例を目にする。他人事と考え難く、もしも当ホームで災害が起きた場合に、全入居者を助ける事が本当に出来るのかと思う。その為、全職員が個々で出来る限りの対応ができるように訓練を重ねる必要がある。	年2回、園全体における避難訓練とは別に、グループホーム単独で年1回、避難訓練を実施する。	夜間帯を想定し、夜勤者1人で、入居者全員を安全な場所に避難できるように訓練を重ねる。そして、全職員が素早く判断できるように、避難訓練場で意見交流を行い、共有に努める。	12ヶ月
2	13	*職員を育てる取り組みについて。入居者の現状として、認知症を抱えると共に、様々な疾病を抱えている。近年、生命との向き合う機会が増してきた。生活を支える専門職として、適切な介護の実践と適切な医療支援に向けて、個々の職員、チームケアのスキルを高める必要がある。	入居者の急変があった場合に、職員全員が迅速に又適切な対応を行えるようになる。	現状的に必要なニーズを見極めて、必要とする対応が各職員が行えるように、随時、勉強会や会議を開く。又、各入居者の持病において、推測される病状に備えた医療知識を高める内部研修を実践する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。